

協育(協働して育む)の原点を取材

上原 政道 理事



(若杉 正幸さん)

(宮迫 敏郎さん)

(中川理事長)

(伊東 俊昭さん)

私が協育(協働して育む)という言葉に出会ったのは娘の小学校でPTA活動を始めてまもない頃でした。その後会長、町P連会長、県P理事と活動してた頃は盛んにこの言葉が研修会で使われるようになって来ました。今回「大分教育の日条例」策定に当時から関わった方々のお話を聞く事が出来たのはとても貴重な時間となりました。協育という造語を使うことに当時は反対の意見もたくさん出たと聞きとても驚きました。今では市民権を得て、メディアもよくこの言葉を使っていますね。家庭・地域・学校が協働して協育！これからも協育ネットの一員として、地域のおやじとして子どもたちの健全育成に微力ながら関わって行きたいなと思います。今回は会報誌裏面には大分県における「教育の協働」の取組の歴史を当時から関わった中川理事長の記事を掲載していますのでぜひお読みください。今後会員の皆様の活動に少しでも役立てて頂ければ幸いです。

事務局よりお知らせ 2020.3.5第5回理事会を杵築市で行いました

本来なら別府市役所内の市民サロンに集まるのですが、新型コロナウイルス感染症の感染防止を考えての場所変更となりました。

協議題

事業1. 人材育成研修事業(中川・安達)

- ① 地域発「活力・発展・安心」デザイン実践交流会の開催
- ② 生涯教育研究実践交流会への参加
- ③ 研修会を開催する
- ④ 「語ろうよ会」の開催

事業2. 「協育」に関する指導者養成事業(安達・佐藤)

- ① 大分大学学習ボランティアサークルの支援

事業3. 「協育」プログラム開発事業(中川・安達)

- ① 「協育」プログラムの資料作成(3カ年計画)
- ② 先進地研修によるプログラムの開発
- ③ 別府溝部学園短期大学温泉コンシェルジュのコースの支援を行う
- ④ 読み聞かせ活動支援研修会(佐藤)

事業4. 「一人1情報の発信運動」の推進事業(上原)



(理事会の様子)

2020年度当初の計画について

(1) 第6回(2020年度第1回)の理事会については4月末(別府市)

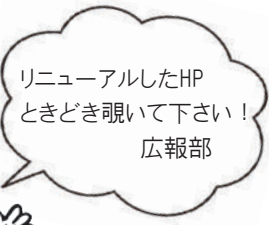
- ① 2019年度事業報告書について
- ② 2019年度事業決算について
- ③ 2020年度事業及び予算について
- ④ 2020年度総会日程及び総会案内について

※総会理事会の開催について

協育ネット総会は6月13日(土曜日)

別府市男女共同参画センター あす・べっぴで開催予定です。

14:00~14:45 法人総会 15:00~16:30 語ろうよ会



リニューアルしたHP
ときどき覗いて下さい!
広報部



広報部よりお知らせ

毎年3月号では福岡県篠栗の福岡県立社会教育総合センターで開催される中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会のご案内をしていましたが、現在センターが新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、3月2日(月)から3月20日(金)まで、臨時休館となっております。状況に応じて延長する可能性もあるようです。5月の3週目の土日開催ですが、決まりましたらFacebookやホームページでご案内します。

福岡県立社会教育総合センター <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/center/>



(昨年の様子)



(会員の赤峯さん発表)

大分県における「教育の協働」の取組の歴史<理事研修>

「NPO法人大分県協育アドバイザーネットワークのルーツを学ぼう」という趣旨で、1月22日に理事と当時の県教育委員会の担当者を交えての研修会を行い、「歴史があって今がある。」という思いから当時を振り返りました。

現在の教育の方向性はコミュニティ・スクールの導入であり、これからの大分県における「教育の協働」を進めるために、コミュニティ・スクールと両輪となる地域学校協働本部の整備についての大分県の歴史を振り返るとともに、現状について以下のようなことについて語り合いました。取組の始まりは平成16年度であり、引き金は「大分教育の日条例」の制定です。

「大分教育の日条例」平成17年3月31日施行

第1条

県民の教育に対する関心と理解を深め、学校、家庭及び地域社会が相互に協力することにより、明日の大分を担う心豊かでたくましい子どもたちを育成するとともに、生涯にわたって自ら学び、郷土を愛し、地域社会の振興に主体的に参加する人づくりを進めるため、おおい教育の日を設ける。

平成16年度

<教育の協働の取組の始まり>

1. 教育の協働の引き金

当時、総務課では「大分県教育の日条例」の制定を進めており、総務課の若杉係長(総務担当)・宮迫係長(市町村合併担当)から「学校・家庭・地域の教育の協働」に関する担当課となるよう梶山生涯学習課長に依頼があり、若杉係長・宮迫係長・中川参事(当時)で協議の上、担当課長の了解のもとに具体的な取組を行うこととしました。

※「学校・家庭・地域の教育の協働」を、学校・家庭・地域の3つの力を合わせて育むという趣旨を文字で表わすこととして「協育」という造語を考案しました。しかし、各処からの「協育」という造語への指摘がありましたが、現在では市民権を得ることができてメディアでも使われています。

2. 「地域協育振興モデル事業」の事業化

平成17年度からの3年間事業として「地域協育振興モデル事業」の予算化を計画しましたが、当初100%の県予算で年間1,000万、3市町村の予定でした。しかし、最終的には県が2/3、市町村が1/3であったため、市町村合併の時期であったことから市町村における予算確保が困難であり、実施モデル市町村がなく、2市(豊後高田市・臼杵市)での2年間の取組から始め、18年度に新たに2市(佐伯市・豊後大野市)で2年間の取組とすることで進めていきました。

平成17年度

3. 「地域協育振興モデル事業」の実施

「地域協育振興モデル事業」を実施するための市町村用の手引きを作成して豊後高田市と臼杵市での2年間の取組が始まりました。

4. 文部科学省委嘱事業の受託

文部科学省委嘱事業「地域が抱える教育課題に対応した指導者養成推進事業」を受託して「教育の協働」に関する調査研究を行い「地域協育振興のためのQ&A」を刊行しました。

5. 大分県社会教育委員会議への諮問

学校教育への地域からの支援システムづくりについて、大分県社会教育委員会議へ「地域社会の協働による子どもの健全育成の方策について」を1年計画で答申をいただくよう諮問しました。

平成18年度

6. 「地域協育振興プラン」の策定

大分県社会教育委員会議からの「地域社会の協働による子どもの健全育成の方策について」の答申を受けて、大分県教育委員会としての教育行政の取組である様々な施策に関する教育の協働体制づくりを行うため、公民館を核としてコーディネーターの配置を通して協育ネットワークの構築を推進する「地域協育振興プラン」を策定(期間:平成19年度～平成27年度)し、市町村での取組を促進することとしました。平成18年12月には教育基本法が改正(第13条に「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」が新設)されたことも背景にあり、教育委員会の全ての課・室の協働による策定でした。

<教育の協働の現状>

1. コミュニティ・スクールの現状

国は、平成17年度からコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度を導入した学校)の導入を進めていますが、全国的にも中々広がりませんでした。平成28年度の大分県教育長期計画においてコミュニティ・スクールと地域学校協働本部の一体的取組を目指してコミュニティ・スクールの導入を促進することとし、現状のコミュニティ・スクールの導入状況は70.5%(全国3位)になっています。

2. 「地域学校協働本部」の現状

地域からの学校支援を行う事業として「学校支援地域本部事業」を平成20年度から実施し、現在の「地域学校協働本部」の前身の事業として全国的に推進してきました。大分県では、平成18年度からの「地域協育振興プラン」の実施による「公民館にコーディネーターを配置した『校区ネットワーク会議』」を全県的に実施するために「学校支援地域本部事業」の実施を推進しました。現在では、「学校支援地域本部事業」を発展させた「地域学校協働本部」の実施状況は79.4%(全国7位)となっています。

3. 教育の協働体制の現状

コミュニティ・スクールの導入においては地域学校協働本部の整備は不可欠であることから、2つの取組が連携して進めており、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の両方が関わっている学校の割合は56.3%で、全国2位となっています。(※全国平均:14.1%)

<NPO法人大分県協育アドバイザーネットワークの役割>

1. 「地域発活力・発展・安心デザイン実践交流会」の始まり

本交流会は「大分教育の日」条例の制定により民間活力による教育の協働を推進する取組として、県教育委員会が「東国東地域デザイン会議」に要請して、大分大学の山崎教授を顧問として県教育委員会と共に平成19年度から始めました。地域での教育の協働の実践事例を共有することで、各地域での活動のエネルギーとネットワークづくりを目的としています。

2. 「NPO法人大分県協育アドバイザーネットワーク」の設立

大分大学ではこの趣旨に賛同して、社会人のコーディネーター養成を目的にして平成21年度に「協育アドバイザーネットワーク養成講座」という公開講座を開設しました。受講生100名を超す社会で活躍する人材を対象にした協育コーディネーターの育成を行い、この受講生の人たちによる「NPO法人大分県協育アドバイザーネットワーク」が平成23年12月6日に設立されました。

会員の皆様、県内でコーディネーターとして活動しておられる皆様とともに、大分県における教育の協働の原動力となっていただくことを願っており、「地域発活力・発展・安心デザイン実践交流会」への参加や、本法人のHPへの参加をお願いします。